

『現場で生かす傾聴技法 1』

2016年 6月刊行

『現場で生かす傾聴技法 2』

2017年 1月刊行

執筆 五十嵐 教行

定価 各1,080円（消費税込み）

このたび北海道総合福祉研究センターでは、「介護新聞」（北海道医療新聞社発行）紙上に連載いたしました「現場で生かす傾聴技法」（理事長五十嵐教行執筆）をまとめた冊子を出版いたしました。

ぜひご購入の上ご一読くださいますようお願い申し上げます。

『現場で生かす傾聴技法 1』の内容

なぜ「傾聴」が求められているのか
風通しの良い職場と傾聴
聴く時の姿勢 ～腕組みなど～
自分のクセ（仕草）で相手の集中力をそがない
傾聴技法
～うなずきと相づちの効果的な打ち方～
効果的な質問の仕方
傾聴の姿勢 ～「繰り返し」の技法～
傾聴時の基本的態度① ～受容的態度～
傾聴時の基本的態度② ～共感的態度～
非審判的な態度で聴くということ
「同じ質問を何度も繰り返す利用者」への対応
「訴えの多い利用者」への対応
「訴えない利用者」への対応
「依存心の強い利用者」への対応
「自慢話をする利用者」への対応

『現場で生かす傾聴技法 2』の内容

「暴言を吐く利用者」への対応
「他の利用者の悪口を言う利用者」への対応
「不穏になってしまった利用者」への対応
「物取られ妄想の利用者」への対応
「帰宅願望のある利用者」への対応
看取りの対応～終末期の利用者への関わり～
～家族への関わり～
～若いスタッフへの関わり～
「介護をしている家族」への対応
「話を勝手に進めようとする家族」への対応
「スタッフの言葉で気分を害した家族」への対応
「理不尽なことを要求する家族」への対応
「虐待をしてしまった家族」への対応
「意見の相違がある家族」への対応
「やる気が見えないスタッフ」への対応
「指示待ちスタッフ」への対応